

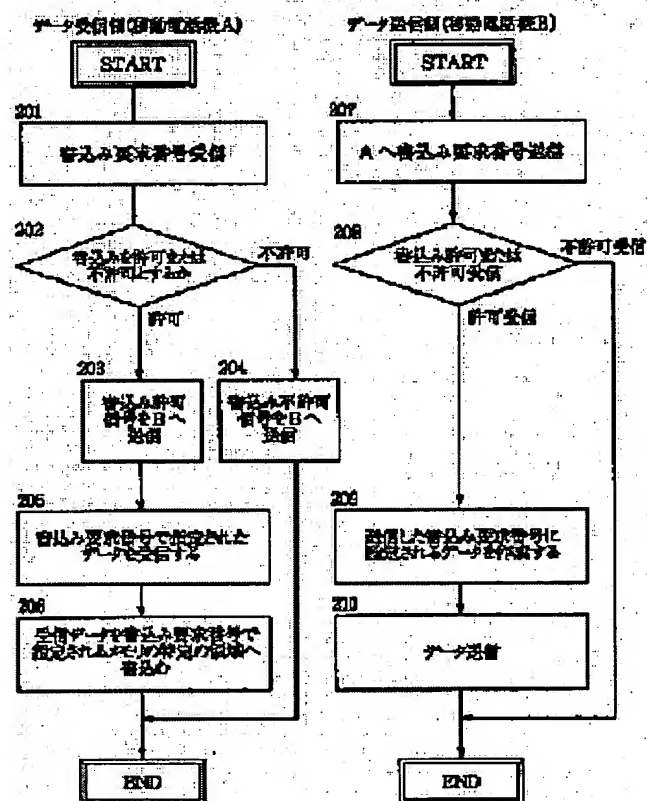
DATA TRANSMISSION/RECEPTION METHOD BETWEEN MOBILE TELEPHONE SETS

Patent number: JP9205680
Publication date: 1997-08-05
Inventor: SAKAI TAKASHI
Applicant: NIPPON DENKI IDO TSUSHIN KK
Classification:
 - international: H04Q7/38
 - european:
Application number: JP19960011993 19960126
Priority number(s): JP19960011993 19960126

Report a data error here

Abstract of JP9205680

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily and correctly transfer data by starting transmission reception when a telephone set A sends a write request number to a telephone set B and the telephone set B returns a write enable between the mobile telephone sets A, B.
SOLUTION: A mobile telephone set B sends a write request number corresponding to data desired to a mobile telephone set A (207). The mobile telephone set A receives the request number (201) and sends a write enable to the mobile telephone set B when the request is allowed (102, 103). The mobile telephone set B receives it and generates data (208, 209). Then transmission reception is started (210, 205). The mobile telephone set A writes the received data to a memory location corresponding to the write request number received before (206). In this case, the length of data to be written is set according to the write number.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-205680

(43)公開日 平成9年(1997)8月5日

(51)Int.Cl.⁴

H 0 4 Q 7/38

識別記号

庁内整理番号

F I

H 0 4 B 7/26

技術表示箇所

1 0 9 Q

審査請求 有 請求項の数 3 O L (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平8-11993

(22)出願日 平成8年(1996)1月26日

(71)出願人 390000974

日本電気移動通信株式会社

横浜市港北区新横浜三丁目16番8号 (N
E C移動通信ビル)

(72)発明者 酒井 敬

神奈川県横浜市港北区新横浜三丁目16番8
号 日本電気移動通信株式会社内

(74)代理人 弁理士 京本 直樹 (外2名)

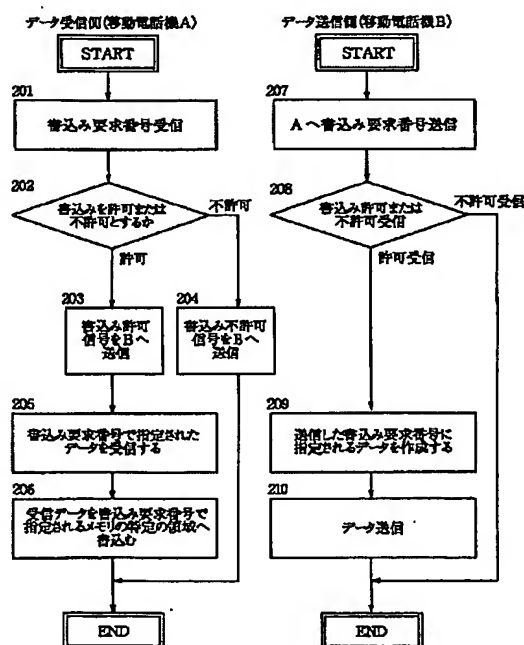
(54)【発明の名称】 移動電話機間のデータ送受信方法

(57)【要約】

【課題】メモリ中の大量の電話番号などのデータを他の移動電話機と送受信することを容易に行う。

【解決手段】第1の移動電話機に記憶されている少なくとも電話番号を含むデータを第2の移動電話機に送信して記憶させる際に、第1の移動電話機から要求内容を示す書込み要求番号を送信し、この書込み要求番号を受信した第2の移動電話機から書込み許可が返送されたとき、上記データを第2の移動電話機に送信する。

Bが自身の持つデータをAに書込みたい場合のフローチャート



【特許請求の範囲】

【請求項1】 第1の移動電話機に記憶されている少なくとも電話番号を含むデータを第2の移動電話機に送信して記憶させる際に、前記第1の移動電話機から要求内容を示す書込み要求番号を送信し、この書込み要求番号を受信した前記第2の移動電話機から書込み許可が返送されたとき、前記データを前記第2の移動電話機に送信することを特徴とする移動電話機間のデータ送受信方法。

【請求項2】 第2の移動電話機に記憶されている少なくとも電話番号を含むデータを第1の移動電話機に受信して記憶する際に、前記第1の移動電話機から要求内容を示す読出し要求番号を送信し、この読出し要求番号を受信した前記第2の移動電話機から読出し許可が返送されたとき、前記データを前記第1の移動電話機が受信することを特徴とする移動電話機間のデータ送受信方法。

【請求項3】 前記データが移動電話機の機能設定に関するデータを含むことを特徴とする請求項1または2記載の移動電話機間のデータ送受信方法。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は携帯電話機、自動車電話機及びPHSなどの移動電話機に関し、特にユーザがキーパッド等から入力する各種データを移動電話機間で送受信して利用可能にするデータ送受信方法に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、移動電話機に設定されている各種データ（たとえば、メモリダイヤルのための電話番号や着信音量の設定値など）を他の移動電話機に設定したい場合、ユーザは上記他の移動電話機のキーパッド等から再び入力する必要がある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】この手法を採ると、電話番号は100件にも及ぶことが多く、大変な作業量になるだけでなく、入力時の誤りも生じる。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明の移動電話機間のデータ送受信方法は、第1の移動電話機に記憶されている少なくとも電話番号を含むデータを第2の移動電話機に送信して記憶させる際に、前記第1の移動電話機から要求内容を示す書込み要求番号を送信し、この書込み要求番号を受信した前記第2の移動電話機から書込み許可が返送されたとき、前記データを前記第2の移動電話機に送信する構成である。

【0005】また本発明は、第2の移動電話機に記憶されている少なくとも電話番号を含むデータを第1の移動電話機に受信して記憶する際に、前記第1の移動電話機から要求内容を示す読出し要求番号を送信し、この読出し要求番号を受信した前記第2の移動電話機から読出し

許可が返送されたとき、前記データを前記第1の移動電話機が受信する構成である。

【0006】

【発明の実施の形態】次に本発明の実施の形態について図1、図2及び図3を参照して説明する。

【0007】移動電話機の構成を示す図1を参照すると、電波によって送られてくる情報は、アンテナ1及び無線部2によって電氣的信号に変換される。無線部2にこのような動作を行わせるように制御するための回路が無線制御部3である。また、無線制御部3では、無線部2からの電氣的信号を主制御回路（CPU）4が解析可能な形式のデータに加工する。CPU4では、アンテナ1、無線部2及び無線制御部3を通して受信したデータを解析し、メモリ8またはメモリ9にデータを格納したり、LCD10に表示を行ったりする。

【0008】キーパッド5は、ユーザが移動電話機にデータの入力等を行うときに用いる。副制御回路（SCPU）7はキーパッド5からのデータを加工し、CPU4が解析可能な形式のデータとする。CPU4はSCPU7からのデータを解析して外部インタフェース11にデータを送り、外部インタフェース11が移動電話機に接続された機器にデータを送るという操作を行ったり、メモリ8またはメモリ9にSCPU7からのデータを格納したりする。電源回路6は内部回路に電源を供給するための回路であり、SCPU7がその制御を行う。メモリ8は揮発メモリである。また、メモリ9は不揮発メモリであり、メモリダイヤルのための電話番号等を残しておくために使用する。

【0009】上述した構成の移動電話機において、たとえばメモリダイヤルのための電話番号の書込みを行う場合、従来はキーパッド5を使ってユーザがデータ入力を行う。SCPU7を通してCPU4がそのデータを受け取り、解析してメモリ9に格納していた（図1中の細い点線……の経路）。この発明では、次に詳細に述べるように図1中の太い点線……を通して同様なデータの書込み（読出し）を行う。

【0010】図2は第1の移動電話機Bが自身の持つデータを第2の移動電話機Aに書込みたい場合のフローチャートである。この場合、移動電話機Bが移動電話機Aに書込みたいデータに対応した書込み要求番号（後に詳細に述べる）を送信する（207）。移動電話機Aはその要求番号を受信し（201）、許可するときは書込み許可を移動電話機Bに送信する（202、203）。移動電話機Bはそれを受信し、データを作成する（208、209）。そして、データの送受信を開始する（210、205）。移動電話機Aは先に受け取った書込み要求番号に対応したメモリ9の位置に受信したデータを書込む（206）。このとき、書込まれるデータの長さについても書込み要求番号に従う。これにより、移動電話機Aに対して100件以上の記憶された電話番号の連

続送信が可能になる。

【0011】図3は移動電話機Bが移動電話機Aの持つデータを自身(B)に書込みたい(読出したい)場合のフローチャートである。この場合、移動電話機Bが移動電話機Aに読出したいデータに対応した読出し要求番号(後に詳細に述べる)を送信する(307)。移動電話機Aは要求番号を受信し(301)、許可するときは読出し許可信号を移動電話機Bに送信し(302, 303)、データを作成する(305)。移動電話機Bは読出し許可信号を受信する(308)。そして、データの送受信を開始する(306, 309)。このとき、移動電話機Aは先に受信し(301)読出し要求番号に対応したメモリ9の位置からデータを送信する。そして、移動電話機Bはそのデータを書込む(310)。このとき、読出されるデータの長さについても読出し要求番号に従う。これにより移動電話機Bは100件以上の電話番号の連続受信が可能になる。

【0012】なお、図2及び図3のフローチャートにおいて、ステップ202, 302で不許可とする条件は移動電話機Aのユーザがデータの書込み、読出しを拒否する場合であり、この場合にはステップ204, 304の処理にすすむ。

【0013】上記書込み要求番号及び読出し要求番号としては、送受信開始時にキーパッド5から対応の番号を入力する。たとえば、メモリダイヤルのための電話番号の全データ書込み(送信)時には“1”、同電話番号の部分データ書込み時には“2”、着信音量の設定値の書

込み時には“3”などを入力する。

【0014】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、メモリ中の大量の電話番号などのデータを他の移動電話機と送受信したい場合に、容易に行うことができる。また、複雑な機能設定などについても、他の移動電話機との間で容易に設定できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の一形態における移動電話機の構成図である。

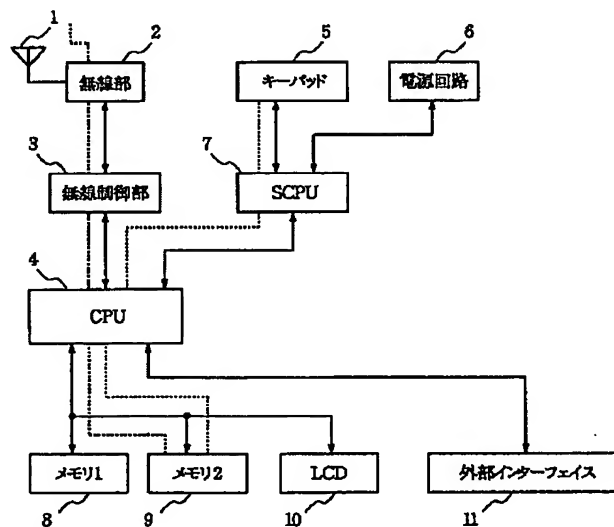
【図2】移動電話機Bが自身の持つデータを移動電話機Aに書込みたい場合の処理を示す。

【図3】移動電話機Bが移動電話機Aの持つデータを移動電話機Bに書込みたい場合の処理を示す。

【符号の説明】

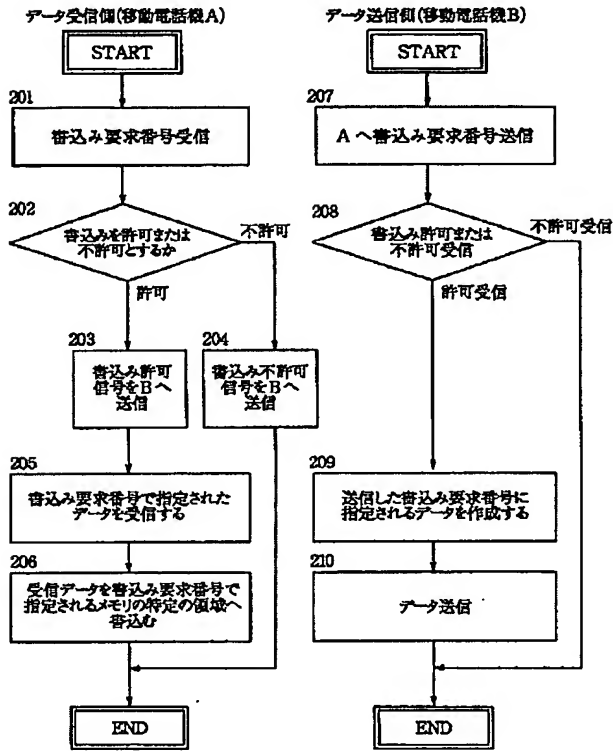
- | | |
|----|------------|
| 1 | アンテナ |
| 2 | 無線部 |
| 3 | 無線制御部 |
| 4 | CPU |
| 5 | キーパッド |
| 6 | 電源回路 |
| 7 | SCPU |
| 8 | メモリ |
| 9 | メモリ |
| 10 | LCD |
| 11 | 外部インターフェース |

【図1】



【図2】

Bが自身の持つデータをAに書き込みたい場合のフローチャート



【図3】

BがAの持つデータをBに書き込みたい場合のフローチャート

